



九州大学  
KYUSHU UNIVERSITY

ISSN 1882-4447

vol.4 Spring 2010

九州大学情報統括本部

# ITだより

## 動画等の学内教育研究 情報公開サイト開設

サイト/<http://oer.kyushu-u.ac.jp> 担当/教育支援事業室

九州大学における教育研究の学術情報発信サイトは、九州大学オープンコースウェア(QOCW)、九州大学学術情報ポジトリ(QIR)、九州大学研究者情報等があります。また、これまで、大学案内、講演会・セミナー、学内イベントの動画が点在していたために、一瞥することができませんでした。そこで、これらを一元的にまとめ、本学における動画を中心とした教育研究情報を俯瞰できるサイトを構築しました。上記サイトをご覧ください。



### 目次

- ・ 動画等の学内教育研究情報公開サイト開設
- ・ Windows 7 および新OS対応のソフトウェア配布を始めました
- ・ 教育情報システムのパソコンがSSO-KIDで利用可能になりました
- ・ キャンパス間学習支援システムiClassの利用開始
- ・ スпамチェック機能が追加されました
- ・ 新しい認証方法が始まります
- ・ SSO-KIDのアカウント有効化機能
- ・ 著作権侵害の防止について
- ・ 全学基本メールサービスの容量が増えました
- ・ 伊都キャンパスの自動販売機で九大ICカードが使えます。
- ・ 大規模計算機・ストレージ・ネットワークを用いる研究公募
- ・ イベント予定



## Windows 7 および新OS対応の ソフトウェア配布を始めました

サイト/<http://iii.kyushu-u.ac.jp/soft> 担当/ソフトウェア事業室 連絡先/E-mail: [msq@cc.kyushu-u.ac.jp](mailto:msq@cc.kyushu-u.ac.jp)(Microsoft), [a-virus@cc.kyushu-u.ac.jp](mailto:a-virus@cc.kyushu-u.ac.jp)(Symantec)

### Windows 7 の配布を開始しました!

Windows 7 の提供を開始しました。ダウンロード配布に加え、インストールメディアの貸出も行っています。

### Symantec 社のセキュリティソフトが、 Windows 7 や MacOS X 10.6 (Snow Leopard) でも使えます!

Windows 7 およびMacOS X 10.6 (Snow Leopard) のリリースに伴い、セキュリティ対策ソフトも新OS対応バージョンがリリースされ、ソフトウェア事業室でも配布を開始しています。

システム要件・利用要件を確認のうえ、ご利用ください。詳しくは上記ページをご覧ください。  
(セキュリティ対策ソフトは学内使用の公用PCが利用対象で、教職員のみダウンロード可能となります)



### ソフトウェア事業室のRSS(最新情報をお届けします)

RSS1.0: [http://iii.kyushu-u.ac.jp/news\\_mng/rss\\_files/r\\_SW1\\_1\\_0.xml](http://iii.kyushu-u.ac.jp/news_mng/rss_files/r_SW1_1_0.xml) RSS2.0: [http://iii.kyushu-u.ac.jp/news\\_mng/rss\\_files/r\\_SW1\\_2\\_0.xml](http://iii.kyushu-u.ac.jp/news_mng/rss_files/r_SW1_2_0.xml)

## 教育情報システムのパソコンがSSO-KIDで 利用可能になりました

サイト/<http://iii.kyushu-u.ac.jp/ec> 担当/教育支援事業室 連絡先/Tel: 092-642-4034, E-mail: [uketsuke@s.kyushu-u.ac.jp](mailto:uketsuke@s.kyushu-u.ac.jp)

教育研究目的で、図書館を利用する際や講習会を受講する際の利便性向上のため、4月からSSO-KIDで教育情報システムのパソコンを利用できるようになります。これまで、各キャンパスに設置されている教育情報システムのパソコンを利用するためには、授業担当教員としてあらかじめ事前登録が必要でした。しかしながら、教育情報システムのパソコンは、中央図書館、医学図書館、伊都図書館等の情報サロンとして、授業以外の目的でも設置されていますので、今後は事前登録無しで利用できるようになります。詳細は、<http://iii.kyushu-u.ac.jp/ec/> をご覧ください。



## キャンパス間学習支援システムiClassの利用開始

サイト/<http://iii.kyushu-u.ac.jp/VC> 担当/教育支援事業室 連絡先/Tel: 092-642-4034, E-mail: [uketsuke@s.kyushu-u.ac.jp](mailto:uketsuke@s.kyushu-u.ac.jp)

キャンパス間学習支援システム「iClass」の全キャンパスへの導入が、2009年9月に完了しました。このiClassは映像と音声を送受信することで、他キャンパスとの授業の実施を可能とするもので、伊都(4部屋)、箱崎、大橋、筑紫、馬出の各キャンパスに設置されています。他学部・他キャンパスへの授業や、受講学生の所属が複数のキャンパスにわたる授業などで活用されています。

iClassは、授業のみではなく説明会・講習会などのイベントにも利用できます。科研費補助金についての説明会や本学総長による年頭の挨拶(写真)が、iClassにより全キャンパスを結んで開催されました。

このように、iClassは授業・イベントなどの目的で利用可能です。ぜひご利用ください。利用にあたっては、情報統括本部のテレビ会議・遠隔講義支援サービスwebページ(<http://iii.kyushu-u.ac.jp/VC/>)をご覧ください。



総長の年頭の挨拶  
(2010年1月4日、箱崎地区  
旧工学部本館4番講義室)



# スパムチェック機能が追加されました

サイト/<http://iii.kyushu-u.ac.jp/net> 担当/ネットワーク事業室 連絡先/Tel: 092-642-2309

従来より運用していましたメールのウイルスチェックサーバの機能を拡張し、スパムチェック機能を2月24日から追加しました。今後は、ウイルス・スパムチェックサーバと呼ぶことにします。このスパムチェックの機能を簡単に紹介します。なお、ウイルスチェック機能は従来と変わりません。

・ウイルス・スパムチェックサーバによるスパムチェックは、トレンドマイクロ社が管理している外部ブラックリストを用いています。このブラックリストに載っているメールサーバからのメールは、受信を拒否します。これにより、スパムではないメールが届かない事態は発生しないはずですが、万一そのようなことがありましたら、お知らせください。

・ウイルス・スパムチェックサーバでスパムと判定されたメールは、Subjectに「[Spam]」が追加されます。また、ヘッダ部に「X-Spam-check-kite:Spam」が追加されます。

例: Subject: [Spam] スпам判定されたメールのタイトル  
X-Spam-check-kite: Spam

・ウイルス・スパムチェックサーバにおいて、チェック可能なメール本文+添付ファイルのサイズは50MBまでになります。大きなファイルを添付するなどして50MBを越えているメールは、受け取れませんのでご注意ください。なお、この値は運用をしながら様子を見て変更する可能性があります。



# 新しい認証方式が始まります～Shibbolethについて～

担当/全学共通認証事業室, 附属図書館eリソースサポート窓口  
連絡先/Tel: 092-642-7234, 092-642-2336 E-mail: [id-room@cc.kyushu-u.ac.jp](mailto:id-room@cc.kyushu-u.ac.jp), [esuport@lib.kyushu-u.ac.jp](mailto:esuport@lib.kyushu-u.ac.jp)

## Shibboleth認証とは？

平成21年度から、全国の大学等とNIIが連携して、米国Internet2が開発したShibbolethを使用した「学術認証フェデレーション」の構築・運用を本格的に開始しており、九州大学もその運用フェデレーションに参加しています。

「学術認証フェデレーション」とは、eリソースを利用する大学、提供する機関、出版社等で構成された連合体のことで、各機関はフェデレーションが定めたポリシーを信頼しあうことで、相互の認証連携が可能となり、学内のみならず、他大学や商用のサービスもシングルサインオンで利用できるようになります。

## 対応サービス (2010年4月時点)

- ・図書館マイアカウントサービス 「きゅうとMyLibrary」
- ・学外からのeリソース利用 「どこでもきゅうと」
- ※電子ジャーナル、データベース等にも拡大予定



全学共通ID/パスワードでログイン

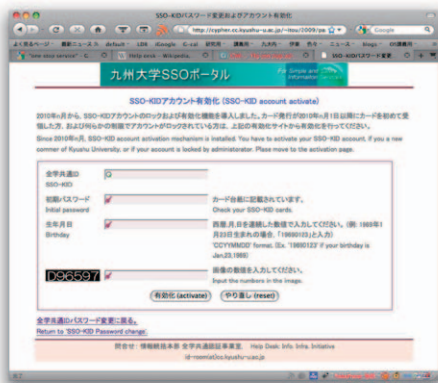
# SSO-KIDでアカウント有効化機能が追加されます

サイト/<http://sso.kyushu-u.ac.jp/> 担当/全学共通認証事業室 連絡先/Tel: 092-642-7234, E-mail: id-room@cc.kyushu-u.ac.jp

## SSO-KID・全学共通IDとは

九州大学全学共通IDは、学内の様々な情報サービスで共通に使える利用者IDです。職員向けの全学共通IDが「SSO-KID」で、学生向けの全学共通IDは「学生ID」です。学生IDは、学生番号(学籍番号)に基づくものになっています。現在、全学向けの様々な情報サービスで、全学共通IDによる認証が行われるようになっていきます。

### アカウント有効化のサイト



上記は開発中の画面のため、2010年4月に公開される実際の画面と異なる可能性があります。

## SSO-KIDの有効化(アクティベート)とは

従来、職員向けのSSO-KIDでは、IDとパスワードが渡された直後から利用者認証に使えるようになっていました。SSO-KIDカードおよびパスワードは、対面による本人確認後に手渡し配布をしていたため、セキュリティ上の問題はありませんでした。一方、長期海外研修や事務部門とは異なるキャンパスに勤務する人などは、手渡しによるSSO-KIDカードの配布ができず、そのため全学向け情報サービスが使えないといった問題がありました。

この問題を解消するため、アカウントの有効化を行う機能を導入しました。新任者やSSO-KIDカード紛失者が、SSO-KIDカードを発行(再発行)された場合、アカウントの有効化を行います。アカウントの有効化は、パスワード変更と同じサイトでを行います。パスワード変更のサイト (<https://passchg.kyushu-u.ac.jp/>) で、「アカウント有効化」をクリックし、ページの指示に従って自分のSSO-KIDや初期パスワードなどを入力してください。



## コラム

# 著作権侵害の防止について～ファイル交換ソフト使用禁止～

サイト/<http://iii.kyushu-u.ac.jp/net> 担当/ネットワーク事業室 連絡先/Tel: 092-642-2309

本学では、著作権侵害防止のためにファイル交換ソフト(Winny, Share, Gnutella, eDonkey, Limewire などの)使用を禁止しています。また、家庭でも使用しないようにしましょう。なお、個人所有のパソコンでも本学のネットワークに接続することがある場合は、ファイル交換ソフトをインストールしては絶対にいけません。ファイル交換ソフトは、インストールするだけで著作権侵害行為を加担するおそれがあり、非常に深刻な事態となる可能性があります。著作権侵害行為を起さないためにも、ファイル交換ソフトウェアを使用しないよう十分に留意してください。



なお、本学でのファイル交換ソフトの使用は、「九州大学ファイル交換ソフトの使用禁止等に関する規程」(九大規程第82号)によって正式に禁じられています。情報統括本部でも、九大での「Winny, Share, Gnutella, Winmx, Bittorrent」の使用を毎日監視しています。特に、学外からの来学者のパソコンを一時的に学内ネットワークに接続させた時のトラブルが多いようですが、本来、来学者のパソコンは学内ネットワークに接続させてはいけませんので注意してください。今後、もし、規程に違反して使用者が見つかった場合は、いかなる理由でも厳重に注意され、さらに今まで以上に厳しく部局レベルでの対応が要求されることになります。



# 全学基本メールサービスの容量が増えました

サイト/<http://www.m.kyushu-u.ac.jp/> 担当/全学基本メールタスクフォース 連絡先/[Tel: 092-642-2306](mailto:Tel: 092-642-2306)  
E-mail: [query@m.kyushu-u.ac.jp](mailto:query@m.kyushu-u.ac.jp)

2009年12月3日より全学基本メールサービスのスプール容量、保存期間を増大しました。

スプール容量	300MB (以前は100MB)
保存期間	60日 (以前は30日)

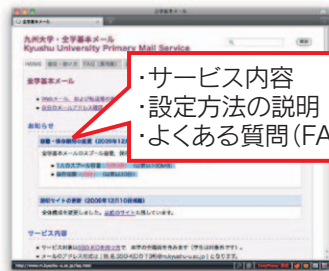
情報統括本部は、職員の基本的な電子メール環境として、全学基本メールを提供しています。重要事項の連絡(事務連絡、自然災害、インフルエンザ連絡等)は、全学基本メールの宛先に送られます。定期的に見るか、常用するアドレスに転送するようにお願いします。

さて、2009年7月1日の運用開始から5ヶ月が経過した2009年11月に利用状況を調査しました。その結果、転送利用者が多いため、メール保存ディスクの使用量が当初の見込みよりも余裕があることがわかりました。そこで、利用条件を見直した結果、上記のようにスプール容量と保存期間を増大することにしました。

スプール容量300MB

### 全学基本メールの詳細説明

<http://www.m.kyushu-u.ac.jp/>



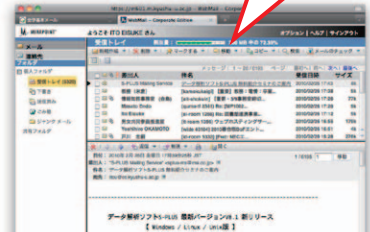
- ・サービス内容
- ・設定方法の説明
- ・よくある質問(FAQ)と回答

### Webメールの利用

<https://webmail.m.kyushu-u.ac.jp/>



全学共通ID(SSO-KID)とパスワードを入力



Webメールの画面。メールの読み書きと、各種設定が可能。

# 伊都キャンパスの自動販売機で 九大ICカードが使えます!

サイト/<http://card.kyushu-u.ac.jp/> 担当/全学共通ICカード運用事業室 連絡先/[E-mail:ic-card-room@cc.kyushu-u.ac.jp](mailto:E-mail:ic-card-room@cc.kyushu-u.ac.jp)



生協の電子マネーシステムを使った  
便利な機能です!

建物	詳細
1 西講義棟	1階 ピロティ(屋外)
2 ウエスト2号館	7階 リフレッシュスペース(746号室斜め前)
3 ウエスト2号館	10階 リフレッシュスペース(1046号室斜め前)
4 学生支援施設	2階 トイレ前(半屋外)
5 守衛所 横	1階 (屋外)
6 センター2号館	B1階 コンコース(屋外)
7 センター2号館	B1階 食堂裏(屋外)
8 センター2号館	B1階 東側(屋外)
9 陸上競技場	体育器具庫(屋外)
10 課外活動施設	1階(屋外)
11 総合体育館	1階 入口右側(屋外)

生協での利用についてのご案内  
<http://card.kyushu-u.ac.jp/service/coop.html>

ICカード学生証・職員証・パーソナルカード(九大ICカード)には、ご希望により、九州大学生協同組合(九大生協)が実施する電子マネーシステム(プリペイド)のサービスを付加することができます。

このサービスを付加した九大ICカードを「かざすだけ」で、飲料などを購入できる自動販売機が、伊都キャンパスの中に数台設置されました。

当サービスをご利用になっている方は、是非お試しください。





# 大規模計算機・ストレージ・ネットワークを用いる研究公募

サイト / <http://cc.kyushu-u.ac.jp/>  
<http://jhpcn-kyoten.itc.u-tokyo.ac.jp/>

担当 / 計算科学技術支援事業室

連絡先 / E-mail: [request@cc.kyushu-u.ac.jp](mailto:request@cc.kyushu-u.ac.jp)

九州大学情報基盤研究開発センターは、北海道大学・東北大学・東京大学・東京工業大学・名古屋大学・京都大学・大阪大学にそれぞれ附置され、いずれもスーパーコンピュータを保持している7つのセンターとともに、「ネットワーク型」共同利用・共同研究拠点として文部科学省の認定を受けました。この「学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点」は、平成22年4月より、本格的に活動を開始します。

このネットワーク型拠点の目的は、超大規模計算機と大容量のストレージおよびネットワークなどの情報基盤を用いて、地球環境、エネルギー、物質材料、ゲノム情報、Webデータ、学術情報、センサーネットワークからの時系列データ、映像データ、プログラム解析、その他情報処理一般の分野における、これまでに解決や解明が極めて困難とされてきた、いわゆるグランドチャレンジ的な問題について、学際的な共同利用・共同研究を実施することにより、我が国の学術・研究基盤の更なる高度化と恒常的な発展に資することにあります。

この目的のため、間もなく、これら8つのセンターが保有する大規模な計算機システムおよびストレージを利用する共同研究課題の公募が開始されます。募集される共同研究の対象分野や公募の要領などについては、これらのセンターを代表する中核拠点である東京大学情報基盤センターに以下の公式サイトが用意されています。

<http://jhpcn-kyoten.itc.u-tokyo.ac.jp/>

なお、情報基盤研究開発センターでは、従来から単独で行ってきた「先端的計算科学研究プロジェクト」の公募も引き続き行っています。こちらでは、  
 ・現行の占有・共有タイプでは達成できない大規模かつ長時間にわたる計算を月単位で占有実行することにより、卓越した学術的成果が期待できる研究  
 ・各システムのすべてのコアを用いて、短時間に並列度の高い計算を実行することにより、性能評価的なデータ採取を行なう研究をそれぞれ助成することとし、4月末日締切で以下のサイトにて公募中です。  
<http://www.cc.kyushu-u.ac.jp/HPC/project/>



## イベントスケジュール

イベント名	開催時期
UNIX初級講習会	5月(伊都、箱崎)
UNIX中級講習会	5月(伊都、箱崎)
高性能アプリケーションサーバ利用法講習会	5~6月(伊都、箱崎)
スーパーコンピュータ利用法	5~6月(箱崎)
並列プログラミング講習会	5~6月(箱崎)
Gaussian講習会	未定
α-FLOW講習会	未定
LS-DYNA講習会	未定
Material Explorer講習会	未定
AVS / HPC ポータル利用法講習会	未定

最新のイベント情報は、情報統括本部のホームページ <http://iii.kyushu-u.ac.jp> に掲載します。

広報記事は以下のWebページで閲覧できます。

<http://www.cc.kyushu-u.ac.jp/publish/>

